



令和3年度 滋賀応援寄附 活用事業のご報告

みなさまからいただきましたご寄附は、以下の事業に活用させていただきました。

①美しい琵琶湖を守ろう 寄附金活用額 10,350 千円

○水草の繁茂による船舶の航行障害や生活環境の悪化等を防ぐため水草刈取を実施しました。

○外来生物の普及啓発を行うとともに、多様な主体による外来生物の監視と駆除活動を支援しました。



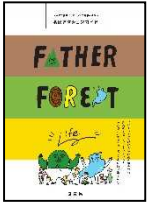
○県内の小学校5～6年生9名がびわっこ大使として琵琶湖に関することを学び、活躍しました。

○琵琶湖の水などに含まれる有害物質を測定する装置を購入し、調査・分析に使用しています。



②健康な「やま・森」をつくろう 寄附金活用額 1,552 千円

○「やまで健康になる、やまを健康にする」(=やまの健康)の実現に向け、県内の農山村の魅力な資源を、資料・動画や展示等を通じて情報発信することにより、都市とやまの交流促進を図りました。



③琵琶湖博物館を応援しよう

寄附金活用額 2,067 千円

○琵琶湖博物館は、「びわ博フェス」などの交流事業を実施しながら、「出あい、学びあい、琵琶湖を世界へ発信する博物館」を目指しています。



④国スポ・障スポを応援しよう

寄附金活用額 246 千円

○2025年に滋賀県で開催する『わたSHIGA輝く国スポ・障スポ』での活躍が期待される次世代アスリートの発掘・強化・育成など、競技力向上に向けた事業のために活用しました。



次世代アスリート育成プロジェクト「滋賀レイキッズ」の活動

⑤滋賀の文化財を次世代へ

寄附金活用額 1,045 千円

○文化財建造物等の保存修理現場や文化財技師の仕事に関する映像作成を行い、文化財や伝統的技術の魅力や大切さを発信しました。



映像はこちら



⑥学習船「うみのこ」を応援しよう

寄附金活用額 974 千円

○学習船「うみのこ」での児童学習航海を、県内全小学5年生対象に1日航海として実施しました。換気や衛生管理を徹底し、安全・安心の航海を実施する中で、子どもたちに「環境に主体的に関わる力」を育むことができました。



白石展望

⑦子どもたちの健やかな育ちを守ろう

寄附金活用額 6,403 千円

○滋賀で生まれた赤ちゃんへ、生み育ててくださる御家族の皆さんへ「おめでとう」「ありがとう」の気持ちを込めた贈りものをお届けしました。

○施設等で暮らす児童の職業観を育むことにより、退所後の安定した自立生活につなげるため、企業や事業所等の協力を得て、仕事体験等を行いました。

○児童虐待が重篤化する前に早期発見・早期対応するため、児童虐待の通告義務、通告先、子どもに及ぼす影響などを県民に広報啓発しました。



⑧県立学校を応援しよう

寄附金活用額 610 千円

○寄附金を活用し、県立学校で生徒が使用するロッカー一等を購入しました。

○また、寄附金の一部(1,884 千円)は積み立てて、今後、各学校で考える取組事業において活用する予定です。



北大津養護学校

⑨交通安全への願い

寄附金活用額 950 千円

○交通事故により悲しい思いをする人を出さないため、防護柵の更新、路側帯のカラー舗装化、路面標示・外側線の引き直し等のハード面やルール・マナーの徹底などのソフト面の両面から「交通事故のない滋賀」の実現を目指し、交通事故防止対策に全力で取り組んでいます。



カラー舗装化



交通安全教室の様子

⑩すべての犬と猫の幸せを願って

寄附金活用額 3,893 千円

○滋賀県動物保護管理センターの飼育環境を改善するため、冷暖房を備えた犬の飼育室の設置、飼育スペース拡大のためのケージ購入を行いました。

○人と動物が共生できる豊かな社会の実現に向けて、地域猫活動の支援に活用しました。

○今後、猫が快適に過ごせるように新たな飼育ケージを導入する予定です。



⑪CO₂ネットゼロを実現しよう

寄附金活用額 436 千円

○一人ひとりが地球温暖化を「自分ごと」として捉え、主体的に「CO₂ ネットゼロ(温室効果ガス排出量実質ゼロ)」に向けたライフスタイルへ転換できるように、学校や地域などにおいて「出前講座」を開催しました。



○出前講座を実施するスタッフのスキルアップのため、講座マニュアルの作成や人材育成セミナーの開催を行いました。

⑫防災ヘリが湖国を守る

寄附金活用額 202 千円

○県民の安心・安全につながる防災ヘリを活用した救助、救急活動の充実に活用することができました。



⑬豊かな棚田を未来に残そう

寄附金活用額 1,011 千円

○県内7地区で棚田地域を保全するボランティア活動を実施し、延べ154名が参加され汗を流しました。



○棚田地域に関心のある企業等やたな友登録者が一堂に会し、棚田保全のあり方や棚田の新たな可能性を考える「しが棚田交流会」を開催しました。



⑭子供たちのしごとチャレンジ

寄附金活用額 139 千円

○小中学生を対象に、様々な職業を紹介し、実際にものづくりを体験する場を提供することにより、「ものづくりの楽しさ・素晴らしさ」を感じてもらい、職業観・勤労観を育むきっかけ作りとなることを目的に、オンラインしごとチャレンジフェスタを開催しました。



⑮みんなが集う都市公園を

寄附金活用額 273 千円

○滋賀県立美術館のリニューアルオープンに合わせて再整備を行った、びわこ文化公園(文化ゾーン)の案内看板(瀬田駅前)の改修等を行いました。



⑯近江牛を日本一に

寄附金活用額 1,254 千円

○近江牛の地域内一貫生産体制を強化するため、子牛の哺育・育成を担う生産拠点施設(キャトル・ステーション)の運営に活用しました。

その他の使い道

○新型コロナウイルス感染症対策

「滋賀県がんばる医療・福祉応援寄附」

寄附金活用額 30,039 千円

○新型コロナ患者の方々の治療に従事される医師や看護師の方に対して、各医療機関から支給される手当の一部、およびご家族等への感染を防ぐため、宿泊施設等を利用される経費を支援しました。
引き続き、医療従事者の方に対する支援に努めてまいります。

○新型コロナに感染された児童や障害者、高齢者などの方々が入院をする場合に、医療機関より入院付き添いを求められた保護者等に対して、必要となる食事療養費について支援を行いました。
引き続き、必要な支援に努めてまいります。